

## 目標達成計画

事業所名 グループホームききょう

作成日: 令和 3年 3月 26日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	11	個人面談の実施や仕組みができていない。	全職員、自己評価をもとにし、個人面談を行う。 今年度は最低1回。	同法人施設の自己評価票を参考に、グループホームにあった項目を設定する。(はじめの段階であるため取り組みやすい内容とする) 職員面談は主任、主任はホーム長が行うことを原則とし行う。	1年
2	35	災害時に隣接の医療機関や事業所と分断されたときに建物単位で電源などの設備が整っていない状況がある。	発電機などの整備をする。	防災設備会社や貯水槽管理会社に助言を求め非常時の電源の確保、水道の確保について整備を進める。食料の備蓄は厨房にしているが、建物単位でも備える。	1年
3	5	身体拘束適正化委員会を主任ミーティング後に行っており、議事録が主任ミーティングと同じとなっている。	ミーティングと委員会の区別をし、記録も分けてとる。	ミーティング後に身体拘束適正化委員会を行う場合も言葉で区切りをつけ、委員会の意義を確認して開催し、議事録は別に作成する。	6か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。